

基金の活用で暮らし最優先の市政を！

共産党議員団

日本共産党加古川市会議員団は10月16日、2020年度の予算編成にあたり岡田市長に要望書を提出し懇談しました。

市長に予算要望書提出



岡田市長（右）に要望書を手渡す、左から立花、高木、岸本各議員

ミニかこバス

土山ルート実施へ

- ◆ 要望書は、選挙公約と市民や各種団体から寄せられた要求をもとにまとめたもので、
- ◆ 子どもの医療費は高校卒業まで無料に
- ◆ 30人以下学級の実現
- ◆ 地域の公共交通の拡充
- ◆ 国保料の応能負担を原則にし国庫負担割合を増やすよう国に求めることなど、

要望書は、選挙公約と市民や各種団体から寄せられた要求をもとにまとめたもので、

その懇談の中で、岡田市長は、立花市議に「かこバスで要望の強かった平岡東部については、道路が狭いのでミニで実施することで地元の理解が得られた」ことを明らかにしました。

立花市議は、積み増している基金を使い市議団の予算要望を実現するよう強く求めました。



マルナカ前で行われたシール投票

「指定ゴミ袋」反対の声広がる

パブリックコメントに

反対意見多数

加古川市は8月28日～9月26日にかけて市民の意見を求めるパブリックコメントを実施しました。

126人から302件の意見が寄せられました。関係者も驚くほどです。内容は反対意見が8割以上でした。加古川市は市民の意見を尊重して早急な導入はやめるべきです。

シール投票でも反対が多数

9月議会に、新日本婦人の会が提出していた「指定ゴミ袋の中止を求める請願」は、不採択になりました。賛成したのは共産党の3人の議員のみで、あとの議員はすべて請願に反対でした。

新日本婦人の会は、早速マルナカ前を皮切りに3か所で「指定ゴミ袋」賛成・反対のシール投票をしました。知らない人も多くいましたが、反対が圧倒的多数でした。

パブ・コメへの私の意見

◇今でも分別収集をしているのにこれ以上は無理です。減らすには製造元とかの協力もいると思います。(坂口)

◇なぜ指定袋でないかとダメなのかわかりません。(竹本)

◇有料になると消費税も上がり、負担も大きい。(瑞慶山)



施設使用料大幅アップ 便乗値上げに批判の声

来年4月実施

市内の公民館、文化施設、スポーツ施設など43施設の使用料をの増税に便乗した今回の大幅な変更、来年4月から多くの施設 値上げに市民から不満の声が上で大幅な料金アップになります。がっています。

公共施設の値上げに失望

立花 一恵 69歳 市民の願いです。年々進(主婦 加古川市) 高齢化社会の中で、人々神戸新聞の東播版で、加古川市が来々4月から公民館など公共施設の使用料値上げを実施する方針という記事を読んで驚き失望しています。一部では200%引き上げのところもあると聞か。利用者にとっては大変なことです。

市は利用者丁寧に説明し、理解を求めるとしていますが、強引な値上げはしないで、低料金で多くの市民が利用できる公共施設がある加古川市であってほしいと願っています。

(神戸新聞10月5日付に掲載された投稿を紹介します)

第14回平和と文化のつどい



記念講演 八法亭みややっこ (弁護士)

2019/11/16 (土)